

児童・生徒を支援するためのガイドブック～不登校への適切な対応に向けて～の作成について

【目的】

教育支援センター（適応指導教室）等充実方策検討委員会の提言（平成 29 年 2 月）を踏まえ、全ての教員が、不登校の要因や背景を正しく理解した上で、児童・生徒の状況に応じた適切な支援を行えるよう手引（ガイドブック）を作成する。

【作成の経緯】

- ・平成 29 年度
大学への委託及び開発調整委員会における検討により試案作成
- ・平成 30 年度
都内 37 校の教職員 189 名（SC,SSW 含む）からの意見聴取結果及び有識者による活用推進委員会での検討を踏まえ、内容を改善

特徴 1

学校における支援「未然防止」「早期支援」「長期化への対応」の各段階に応じて各章を構成

学校における支援の三つの段階

長期化への対応

長期間欠席している
児童・生徒への支援

早期支援

休み始めた
児童・生徒への支援

未然防止

全ての児童・生徒への支援

- ・「学校における支援の三つの段階」でそれぞれの段階に必要な支援の在り方を各章で紹介
- ・児童・生徒の実態に合わせて必要なページを参照

長く欠席している 不登校児童・生徒がいる

「第 V 章 不登校状態が長期化している児童・生徒への支援」を参照

休み始めた児童・生徒がいる (遅刻や早退が増え始めた)

「第 IV 章 早期支援」、
「第 III 章 アセスメント」を参照

不登校が生じない学校 (学年・学級) にしたい

「第 II 章 不登校が生じない魅力ある学校づくり」を参照

特徴 2

多角的に不登校の状況や要因、背景を捉え、支援につなげる考え方を提示

- ・医学や心理学の領域で使われている生物学、心理学、社会学的観点から多面的・多層的に捉え、対処しようとする「生物・心理・社会モデル」を参考
- ・児童・生徒の状況を教育関係者に分かりやすい「身体・健康面」「心理面」「社会・環境面」の三つの観点から捉え、児童・生徒の不登校の要因や、本人のもつ良さを把握し、支援につなげる考え方を提示

特徴 3

アセスメントの項目を選択して入力可能な「登校支援シート」のフォーマットを付属

- ・「登校支援シート」の作成により、支援に必要な情報の集約や支援計画の作成ができ、関係者や関係機関での共通理解を推進
- ・対象となる児童・生徒を観察し、「現在の状況・様子」から該当する選択肢をプルダウンから選び、登校支援シートに入力が可能
- ・「登校支援シート」を校種間で適切に引き継ぐことにより、継続的に多角的な視野に立った指導体制を構築

【今後の取組】 平成 30 年度

- ・不登校担当指導主事連絡協議会で説明（平成 31 年 2 月）
- ・3 月中旬に全校配布

平成 31 年度以降

- ・HP、マイ・キャリア・ノートへの掲載 ・教員研修テキストに掲載
- ・ふれあい月間（11 月）調査で「未然防止」「早期支援」「長期化への対応」の取組について検証
- ・各研修等での活用、周知